

モニタリング記録票 (R1秋・猿島)

調査日：令和元年11月19日（火）8：45～11：45


天候：晴れ

気温：18℃（9：00時点）

記録者：自然環境共生課

協力者：三浦半島自然保護の会、猿島公園専門ガイド協会

④ キジョラン

地図に  (青) で図示
食痕がある地点は色を変え図示


コメント：
実、種を複数発見した

③ 壁面のシダの様子

壁面上部の倒木・伐木 有 無)
シダ類以外の植物 増 減 変化なし)

コメント（その他植物名、日照状態など）：
アジサイ
倒木を伐採したため、日照が大幅に向上した
→乾燥し環境が変わる（シダ類が減る）可能性あり

② マダケ（広がり方の確認）

地図に  (緑) で図示

前年と比較して変化が ある ない)
変化の内容：
範囲は変化なし
青い竹と茶色い竹が混在（台風の影響？）


① ウミウ

生息確認数： 47 羽（H30秋：19羽）

コメント（その他の鳥の種名・数など）：
正面31羽、北側の岩壁16羽
アオサギ2羽
ヒメウ1羽

※ヒメウ、ウミウ…北海道付近から来る
ヒメウは全身カラス色

⑤ イソギク

地図に  (赤) で図示

その他海岸植物：
ハマボウス
イソギク（満開）

⑥ 海岸打ち上げ物

人工物と自然物の割合 = 1 : 9
海藻・海草： _____ 種類
生物の遺骸： _____ 種類

打ち上げ物の種名と数：
(+ : 若干, ++ : 十数, +++ : 無数)
ハマトビムシ
ハマダンゴムシ
スナガニ（初めて発見）
※カニの幼生は海をさまようため、
スナガニが猿島にいたのはたまたま？

沖合にスズガモ190、キンクロハジロ120、
アカエリカツブリ2、オオバン10
→ブイのロープについているフジツボなどを食べる

⑦ 四層構造の林の様子

種類を記述	高木	タブノキ、スダジイ、イヌビワ、ヤブニッケイ、シロダモ	生息する鳥類、昆虫類など： 台風の影響で高木の葉がなくなっている
	中低木	アオキ、イヌビワ	
	低木	幼木、アズマネザサ	
	林床	フウトウカズラ、朽木	

自由記述欄
シロハラ「ヒリヒリ」
ウグイス（地鳴き）「ジャツジャツ」
ナメクジはアメフラシやウミウシの仲間、カタツムリは巻貝
キジバトの子ども…首の縞模様が薄い

